

題目 中小企業経営者の経営能力とファイナンシャル・リテラシー

－ 副題 しっかりとした経営基盤を次世代に承継させるために －

氏 名 穂 東 洋 一

指導教員 任 章

要旨

我が国の経済は、2020年に始まった新型コロナウイルス感染症の世界的流行による市況の大幅な下押しと、感染防止を図りながら社会経済活動の水準を引き上げなければならない試練に直面するという、未曾有の経験をした。その中でも、中小企業を取り巻く経営環境は、「中小企業景況調査」に示されるように、10年以上にわたって前期より景況感が悪い「マイナスDI」の状況が続いている。また中小企業は、このように恵まれない景況感の上に、人財の視点からも資金的にも、経営スキルの面からも、大企業と比較にならないほど脆弱である。その上で、特に、地域の中小企業を経営する経営者の側には、現状、指摘すべき問題点が多く見られる。

筆者は35年間の金融機関での勤務の中で、20年以上にわたり事業再生に関連する業務を行ってきた。その過程においては窮境に陥り、悲しいかな、最悪の場合、自ら命を絶つような経営者も数多くみてきた。人生において、人は様々なことに悩み、苦しみ、ストレスを感じるが、その中でも、金銭にまつわるものは最も重いものの一つであろう。そこで、そのような窮境状態に陥らないようにするためには、中小企業経営者や次世代を担う若い人達は、どのようなファイナンシャル・リテラシーを身に付け、どのような態度や考え方で日々の経営に臨めばよいか、そのことに考えを巡らすようになった。

しかし、経営に失敗した場合のリスクや、窮境に陥らないためにどうしたら良いのか、初めて学ぶ人にも分かりやすく、体系的に整理された文献や教材等は少ない。本稿により、中小企業経営者が最低限身に付けるべきファイナンシャル・リテラシーを整理して示すことができたと自負している。今後は、そのリテラシーの水準を上昇させることで、不幸に陥る可能性が高い人を事前に救い出し、その結果、地域社会に貢献する方途が見出せるものと考えている。

本研究の結論たるは中小企業経営者に対するファイナンシャル・リテラシーのニーズを認識することであり、また含意たるは、そうした教育訓練機会の提供なくして不幸なケースは今後もあいにく、続くだろうということであった。

キーワード：ファイナンシャル・リテラシー、実態バランスシート、インテグリティ、
共通言語、ファイナンシャル・インクルージョン、心ある専門家